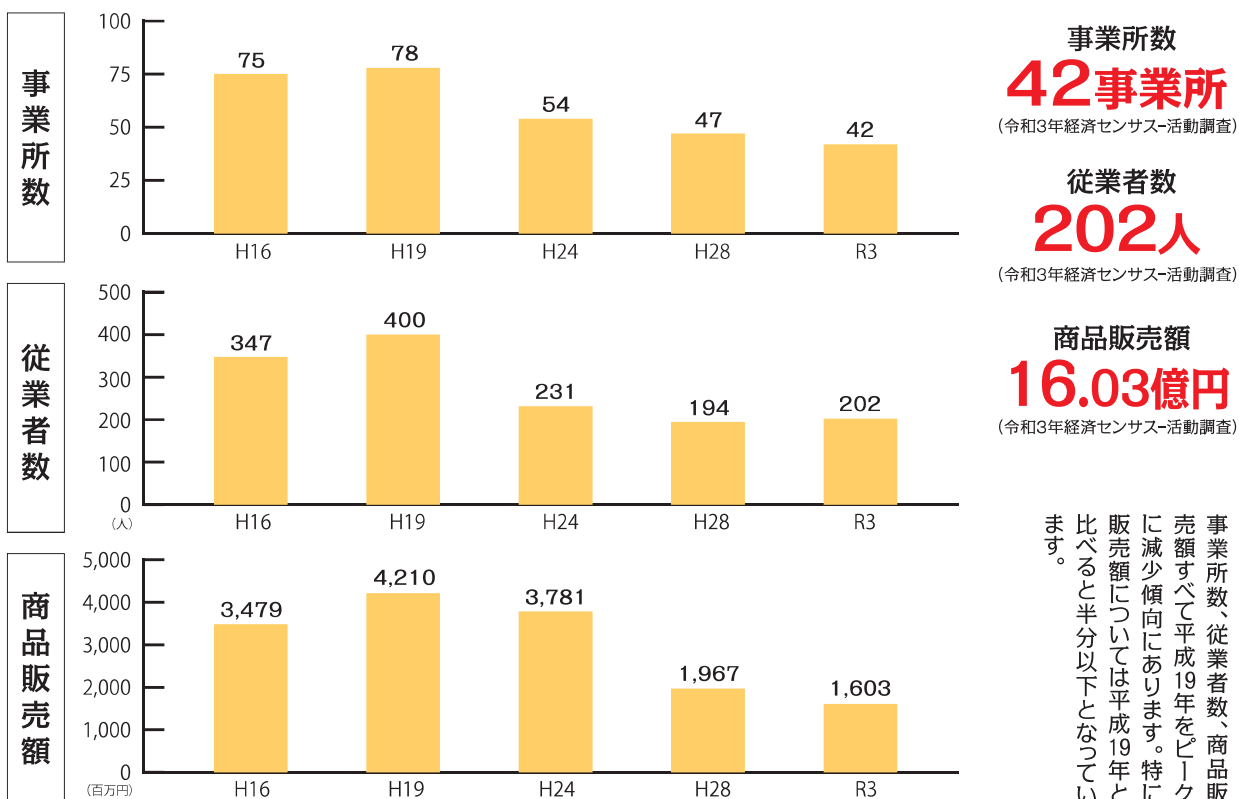


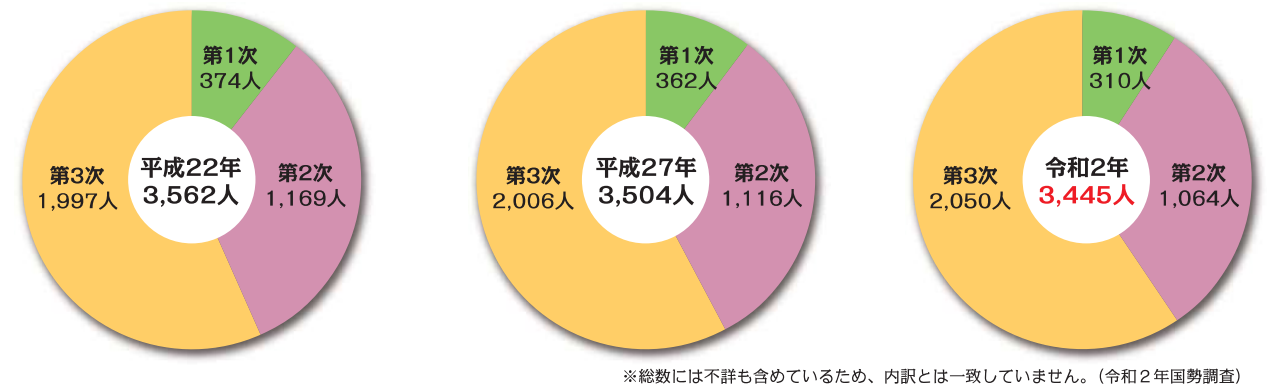
工業の状況



商業の状況



産業構造の推移



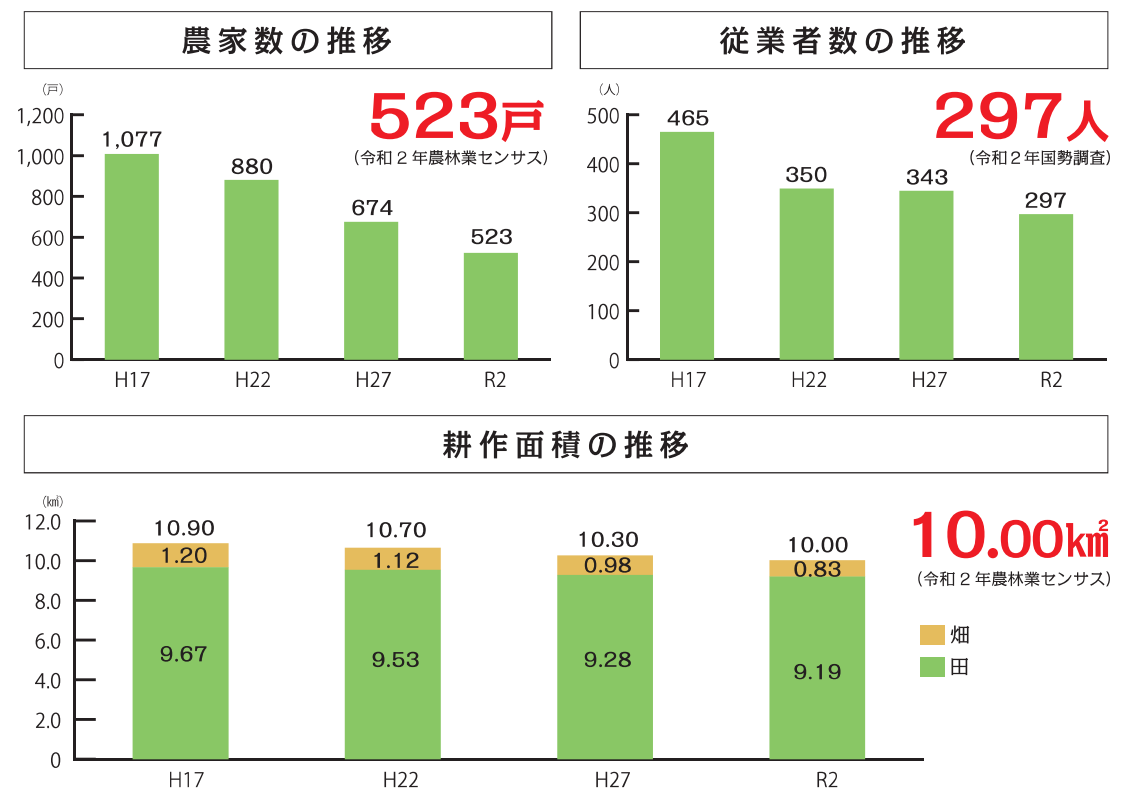
第3次産業別就業者数

	運輸業 郵便業	卸売業 小売業	金融業 保険業	不動産業 物品賃貸業	学術研究 専門・技術サービス業	宿泊業 飲食サービス業
R2	130人	410人	30人	24人	50人	104人
H22	112人	493人	43人	23人	37人	102人
	生活関連サービス業 娯楽業	教育 学習支援業	医療 福祉	複合サービス 事業	サービス業 (他に分類されないもの)	公務 (他に分類されるものを除く)
R2	96人	135人	661人	52人	200人	134人
H22	118人	139人	549人	62人	153人	147人

(令和2年国勢調査)

産業別の就業者比率の推移は第1次産業、第2次産業が共に平成22年と比べると減少傾向にあり、第3次産業が増加傾向にあります。増加傾向にある第3次産業の中でも医療福祉、サービス業が大きく伸びています。

農業の状況



農家数は平成17年と比べると半数以下となっており、従業者とともに減少しています。農家従業者の減少に従い耕作面積も減少傾向にあります。